

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

奉仕を通じて平和を

第 2463回 例会
 平成24年10月5日(金)
 天候 晴れ
 合唱 君が代
 奉仕の理想
 四つのテスト

会長 山本 明峰

幹事 石倉 幸久

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
 例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
 TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

「中秋の名月」

先日の十五夜さんは、ちょうど台風が通過した夜だったので残念でしたが、我が家ではその後も数日、ススキだのワレモコウだのオミナエシだのを花瓶に活け、団子やさつま芋などと一緒に縁側に供えたままになっております。その脇に座いすなどを設えて酒を飲むのが秋の夜長の過ごし方というものです。今は虫の音が一番盛んなときですから、裏山に続く裏庭から、それはもう重層的に羽音が此方に向かってくる様に聞こえ、そのうちにはどうしたって陶然としてまいります。

ところで、残念でならないのが、いつの頃からか、もう何十年も前からだったか、子どもの頃のように「鳴き声」のバリエーションがめっきりと少なくなってしまったことです。クツワムシの「ガチャガチャ」した声、邯鄲の澄んだ声、ハヤシノウマオイの「スイッチョン」、本当に聞こえなくなってしまいました。

海はもっと酷さが判ります。この夏、知人の子どもたちを真鶴の磯に連れて行ったのですが、ヤドカリと蟹しかいないのがっかりでした。まあ、それでも子どもたちは大喜びでしたが、昔のあの豊穡な大自然を満喫させてあげたい、と望むのは湯河原の田舎であってさえなかなか難しくなっているのかもしれない。

エコロジーを持ち出すまでもなく、自然環境というのは種が多様であればあるほど安定するとは、長いこと山間で暮らしていると、なるほどそうかもしれないと実感することでもあります。じつは自然環境だけでなく人間の作る集団もきっと同じなんじゃありませんか。多種多様なひとが集まってこそ、多様性が確保されてこそ、集団は安定する。どんなもんでしょうか。あまりお互いに同調圧力を掛け合うような組織には加わりたくはないものです。

幹事報告

ガバナー

1. 地区大会「国際奉仕」展示コーナー設置の件
 地区大会の時、クラブの国際奉仕プロジェクトを紹介するパネルを展示することになりました。
 展示日時：10月20日(土)・21日(日)
 展示枚数：各クラブ1枚(A2サイズ以内)
 回答期限 10月15日(月)
2. 第44回神奈川県ロータリー親睦テニス大会のご案内
 日時：11月13日(火)9:30~
 会場：湘南ローンテニスクラブ
 参加費：7,000円
3. 地区大会表彰について
 表彰名：出席率優秀クラブ(2位)
 登壇者：会長エレクト 渡辺久恭

連絡事項

1. 2011~2012年度地区資金会計監査報告が届きました。
2. 次週の例会は、第2回目の年会費の集金日です。皆様のご協力をお願い致します。
3. 10月21日(日)地区大会へはバスで行きます。湯河原駅10時30分集合出発です。昼食のお弁当を用意致します。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 25名
	欠席 3(免除者1)名		出席率 91.67%
	前回の修正出席率 96.00%		前々回の修正出席率 96.00%

スマイルBOX

会員誕生日 伊藤伸之君 10月11日
結婚記念日 石田浩二君 9月21日
杉山茂久君 10月4日
細谷信雄君 10月6日
神谷一博君 10月10日
ご婦人誕生日
10月1日 石川博君 (和 様)
10月7日 細谷信雄君 (良美 様)

卓 話

土屋 一弘君

今日は、皆さんに真鶴の昔話と真鶴の古い言葉を紹介します。

◎「ぼんぼん鮫のお話」

昔々一艘の船が真鶴半島の沖を航行しておりました。船の荷の中には大きな梵鐘が二つ積まれておりました。突然船が止まってしまいどうしても動くことが出来ません。船中に丁度お坊さんが一人乗っていました。坊さんが言うことには、

「海の中の主が船を止めている、積荷の鐘を一つ海中に落とすなさい」海中に沈んだ鐘は海の主である大きな鮫をとじ込めたのです。

でもまだ船は動かないのです。

二つ目の鐘も海中に落しました

もう一匹の鮫もとじ込めました。

二匹の鮫には子供がいました、子供の鮫はお父さん、お母さんと叫びながらしっぽで鐘をたたきました

すると鐘は、ポーン、ポーンと鳴ったのです。

そして船は、動き出し安全な航海をすることが出来ました。

その後、波の大きい日などにその当りを船が通るとポーン、ポーンと音がするようになりましたとさ。

次に

◎真鶴ことば（方言）を紹介いたします。

湯河原町でも使用する言葉もあると思います。

どんでエまわる	とんでもないことを言うな
じゃるそば	売春婦
せんすらしん	うそつき
おしゃんべくり	おしゃべり
しゃちかばる	どうしようもない
どうたんしている	赤ん坊が うっくん、うっくん言っている時
おじゃかもの	言う事を効かぬ子供
どど	たびたび
きそきそ	落ち着かぬ事
やさし	大変(大きいとか 大変寒い)とか
おせおせしい	よそよそしい
ぶっかる	ころぶ
しょんぐる	小便を勢いよくする
やぶせてい	めまぐるしい
ぶっちよる	落ちる
しょんじょらしい	かわいらしい
はだっと	わざと
でんがる	おおきくなる
あっぱすっぱ	はっきりしない
◎魚の名前	
じんだんご	小鯰
きつね	はがつお
せみせん	べら(青)
寝しょんべん	あいご
鷹羽	たかのはだい
ローソク	小さいそうだがつお
的	マトウダイ
かあごうし	箱フグ
石頭	ねんぶつだい
あわもち	皮はぎ
たぼ	べら(赤)
ショゴ	かんぱちの子供
サゴシ	さわらの子供